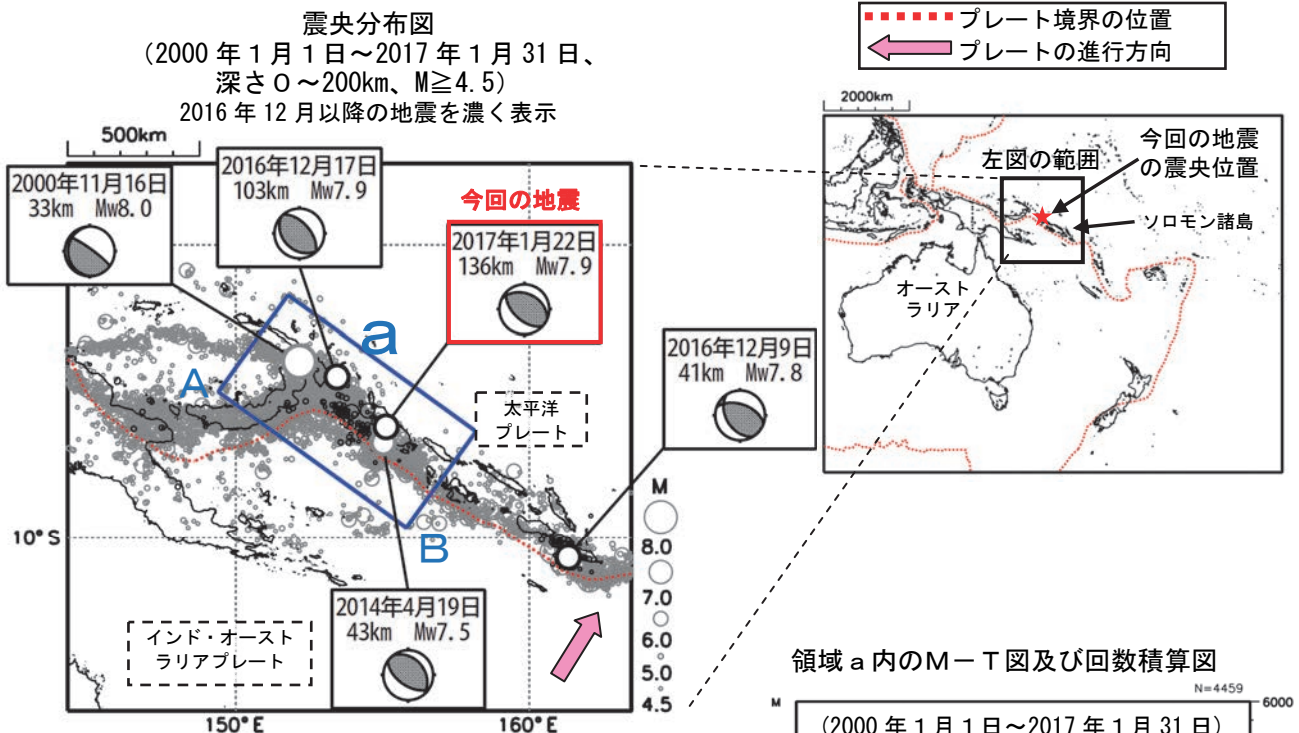


1 月 22 日 ソロモン諸島の地震

2017 年 1 月 22 日 13 時 30 分（日本時間、以下同じ）にソロモン諸島の深さ 136km で Mw7.9 の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は、北東－南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートに沈み込むインド・オーストラリアプレート内部で発生した。ソロモン諸島周辺では、インド・オーストラリアプレートの沈み込みに伴い、地震活動が活発で、この地震の発生前の 2016 年 12 月 9 日に Mw7.8、12 月 17 日に Mw7.9 の地震が発生するなど目立った地震活動がみられる。

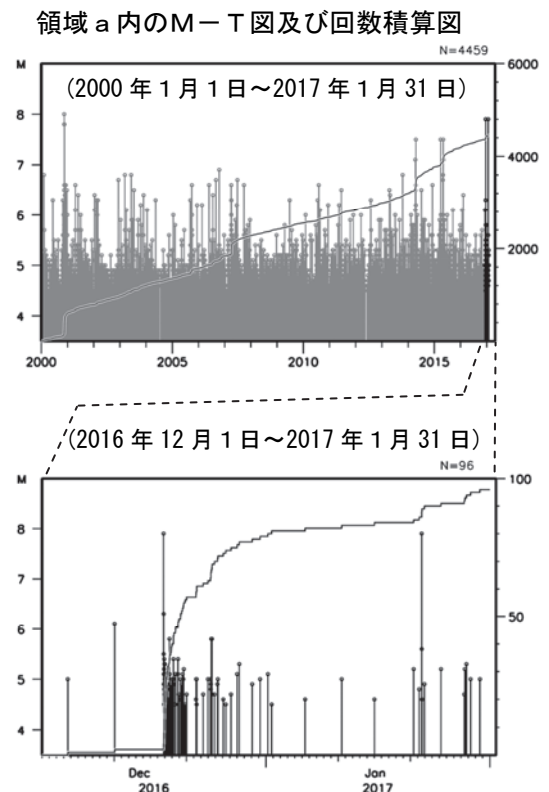
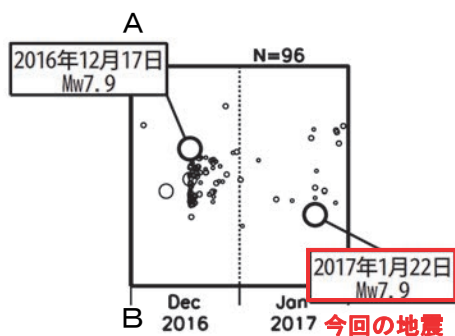
気象庁は、22 日 13 時 58 分に遠地地震に関する情報（この地震による津波の心配なし）を発表した。

2000 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、M7 を超える地震が時々発生し、まとまった地震活動もみられる。2000 年 11 月 16 日の Mw8.0 の地震では、死者 2 人、住家被害多数の被害が生じている。



プレートの進行方向は、太平洋プレートを固定した場合の相対的な方向である。

領域 a 内の時空間分布図
(2016 年 12 月 1 日～2017 年 1 月 31 日)



※本資料中、今回の地震と 2016 年 12 月 9 日、17 日の地震の発震機構と Mw は気象庁による。その他の地震の発震機構と Mw は Global CMT による。震源要素は米国地質調査所（USGS）による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) * より引用。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.